

I C Tで未来を創る私の仕事

プログラミング教室を通じた人づくり ～プログラミングスキルは生涯の財産～

株式会社NS・コンピュータサービス 教育事業部 部長
国松 英樹さん
インタビュアー 東北大学 3年 川崎 剛

新潟県トップクラスの規模を誇るIT企業、NS・コンピュータサービスの教育事業部長を務める国松さんに、ICT分野との関わりやお仕事に対する思いを語っていただきました！

川崎 本日はよろしくお願ひします。早速ですが、NS・コンピュータサービスは主にどのような事業を行っている会社なんでしょうか？

国松 大きく3つの事業を行っています。1つ目は、組込み開発事業です。主に自動車のメーターやヘッドアップディスプレイといった、車載機器を中心とした開発を行っています。2つ目は、民需ソリューション事業です。勤退管理や給料計算といった、会社の運営に必要なシステムを提供しています。3つ目は、公共ソリューション事業です。自治体や教育機関の業務支援のためのシステムを提供しています。



国松 英樹さん

川崎 ありがとうございます。それでは、国松さんが所属されている教育事業部はどのようなお仕事を
行っているのでしょうか。

国松 プログラミング教室や、プログラミングの体験イベントの運営を行っています。プログラミング教室では、小・中学生向けに、ブロックを組み合わせ
て直感的にプログラムを組み立てる「ビジュアルプログラミング」のレッスンを
行っています。

小・中学生は、学校ではプログラミングの基礎的な考えを学びますが、私
たちのプログラミング教室ではより深い学びにつなげています。

川崎 子どもたちはどのくらい深く学ぶのですか？

国松 例えば、ワールドがあって、敵がランダムに出現して、その敵と戦って、
勝つと経験値がもらえる、といった簡単なロールプレイングゲームを、子ども
たちが自分で考えて作れる段階まで学んでいます。



川崎 とても深く学ぶことができるのですね。

國松 そうですね。子どもたちは自分でキャラクターのデザインもするなど、自由な発想でプログラミングを楽しんでいます。プログラムのアレンジに一生懸命になって、もともとのプログラムと全然違うものになってしまうこともあります（笑）。子どもたちには驚かされています。



プログラミング教室の様子

川崎 プログラミング教室のお仕事の魅力を教えていただきたいです。

國松 一番の魅力は、レッスンが終わった後、子どもたちが「今日楽しかった」と言ってくれることです。

今の子どもたちは、プログラミング的思考力を問われる世代です。プログラミングは新しい分野なので、学校の先生や親御さんがどう教えたらよいかわからないというお話をよく聞きますが、私たちがそのような教える側の方たちの代わりを担えているという実感があります。

川崎 社会に貢献なさっているという実感があるのですね。國松さんはお仕事を通じてどのような社会を実現したいですか？

國松 若者が地元長岡に定着して欲しいと考えています。若者が都会に流出しているのは、都会に仕事が集中していることが1つの要因としてありますが、プログラミングはパソコンマシンがあればすることができるので、地方にいても若者が活躍しやすい分野だと思います。プログラミング教室を卒業した子どもたちが、将来うちの会社に入ってくれたらいいなと思っています。



お仕事風景

川崎 地元への思いがあるのですね。

國松 大学生の時に一度地元を離れましたが、卒業とともに戻ってきて、25年くらいずっと長岡で仕事をしているので、やっぱり長岡が元気になってほしいという思いがあります。



川崎 大学ではどのようなことを学んでいたのですか？

國松 大学では、電気工学科を専攻していました。研究室では、当時まだできていなかったロボットの二足歩行について研究していて、ハードウェアの設計やソフトウェアの作成を行っていました。

川崎 大学での学びはお仕事に結びついていますか？

國松 今の仕事に携わる前は、車のメーターやヘッドアップディスプレイの電気回路の設計に携わっていました。電気回路は、ソフトウェアのことを考えないで作ってしまうと、システム全体として上手く動きません。ソフトウェアの処理を推測して、回路の設計を行っていきます。ハードウェア、ソフトウェア双方のことを考えながら一つのものを作り上げていくことが大切だと感じながら、電気回路の設計の仕事をしていました。大学での学びは、ハードウェア、ソフトウェア双方に出会うきっかけになりました。

プログラミング教室の仕事は、2020年から始まりました。プログラミングに関しては、理系文系というよりも、いかに物事を論理的に考えるかが重要なので、文系出身でも始めやすい分野だと思います。実際に文系出身の社員も増えています。

川崎 最後に、ICT関係の仕事に興味を持っている学生に向けて、メッセージをお願いします。

國松 今後、新しい仕事がたくさん生まれてくると思いますが、共通して活かせるのがプログラミングのスキルだと考えています。プログラミングのスキルは財産になる能力だと思うので、ぜひ今から勉強して、長い将来を見据えた中で関わってってもらいたいです。



お仕事風景

令和7年9月9日インタビュー

※社名、所属等はインタビュー時現在です。

企画・政策：新潟県知事政策局ICT推進課・新潟県ICT推進協議会

